

最近の管内経済概況

(2023年2月の経済指標を中心として)

～ 持ち直しの動きがみられる ～

最近の動きをみると、

- 生産活動は、弱い動きとなっている。
- 個人消費は、持ち直している。
- 観光は、緩やかに改善している。
- 公共工事は、減少した。
- 住宅建設は、弱まっている。
- 民間設備投資は、増加している。
- 雇用動向は、緩やかに持ち直しの動きがみられる。
- 企業倒産は、件数は増加、負債総額は減少した。

全体として、管内経済は、持ち直しの動きがみられる。

なお、先行きについては、新型コロナウイルス感染症の影響、国際経済の動向等を十分注視する必要がある。

※ 下線部は、前月から判断を変更した部分。

2023年4月20日

照会先 : 経済産業省 北海道経済産業局
総務企画部 企画調査課

T E L : 011-709-2311 内線 2525

E-mail : bz1-hokkaido-kikakuchosa@meti.go.jp

U R L : <https://www.hkd.meti.go.jp>

管内経済概況判断の推移

(2023年4月現在)

発表月	2022年11月	12月	2023年1月	2月	3月	4月	前月との判断比較
総括判断	持ち直しの動きに弱さがみられる	持ち直しの動きに弱さがみられる	持ち直しの動きに弱さがみられる	持ち直しの動きに弱さがみられる	<u>持ち直しの動きがみられる</u> (↗)	持ち直しの動きがみられる	➡
生産活動	弱含みとなっている	弱含みとなっている	<u>弱い動きとなっている</u> (↘)	弱い動きとなっている	弱い動きとなっている	弱い動きとなっている	➡
個人消費	一部に弱さが残るものの、持ち直しの動きがみられる	<u>持ち直しの動きがみられる</u> (↗)	<u>緩やかに持ち直している</u> (↗)	緩やかに持ち直している	<u>持ち直している</u> (↗)	持ち直している	➡
観光	持ち直している	<u>緩やかに改善している</u> (↗)	緩やかに改善している	緩やかに改善している	緩やかに改善している	緩やかに改善している	➡
公共工事	<u>増加した</u> (↗)	<u>減少した</u> (↘)	減少した	減少した	減少した	減少した	➡
住宅建設	一部に弱さが残るものの、持ち直しの動きがみられる	一部に弱さが残るものの、持ち直しの動きがみられる	<u>持ち直しの動きに弱さがみられる</u> (↘)	持ち直しの動きに弱さがみられる	持ち直しの動きに弱さがみられる	<u>弱まっている</u> (↘)	⬇
民間設備投資	増加している	増加している	増加している	増加している	増加している	増加している	➡
雇用動向	緩やかに持ち直しの動きがみられる	緩やかに持ち直しの動きがみられる	緩やかに持ち直しの動きがみられる	緩やかに持ち直しの動きがみられる	緩やかに持ち直しの動きがみられる	緩やかに持ち直しの動きがみられる	➡
企業倒産	件数は増加、負債総額は減少した	件数、負債総額とも増加した	件数は減少、負債総額は増加した	件数、負債総額とも増加した	件数、負債総額とも増加した	件数は増加、負債総額は減少した	

注：下線部は、前月から判断を変更した部分。

↗ 上方修正 ➡ 据え置き ⬇ 下方修正

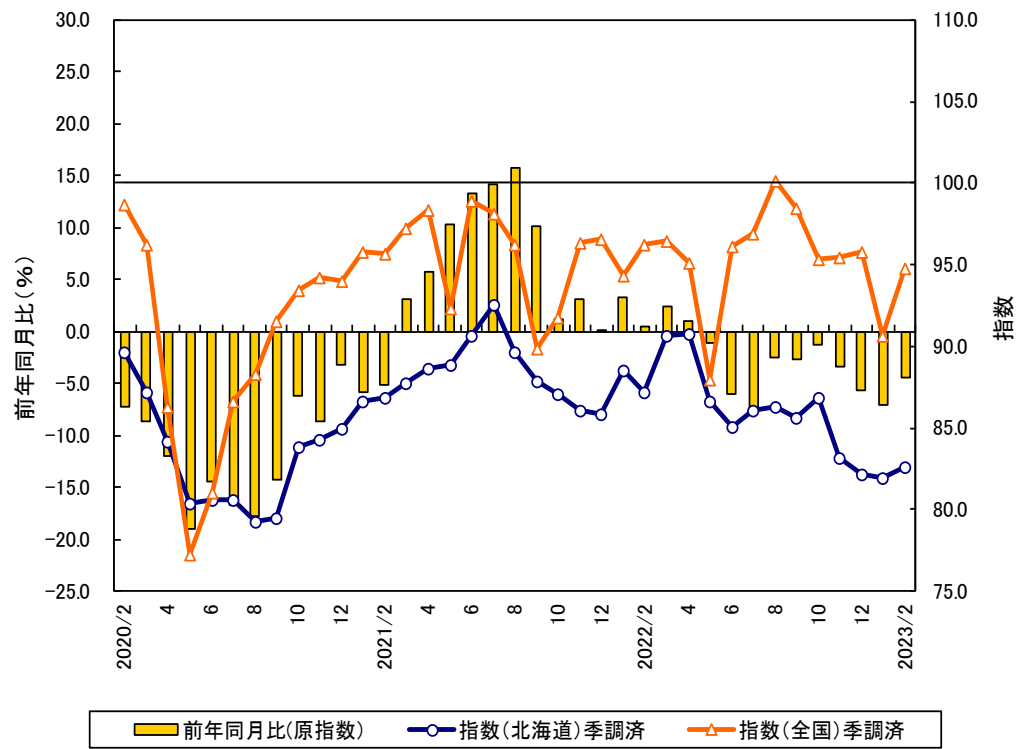
生産活動 ～ 弱い動きとなっている ～

2月の鉱工業生産は、前月比+0.9%と4か月ぶりに上昇した。前年同月比は▲4.4%と10か月連続で低下した。上昇業種は、輸送機械工業など7業種となった。低下業種は、化学・石油石炭製品工業など8業種となった。

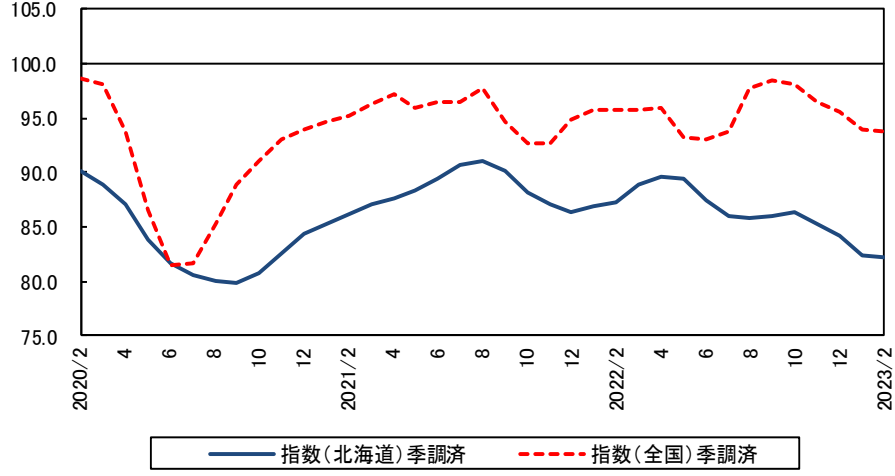
< 2月 >			
季節調整済指数			
北海道（速報）	82.6	（前月比+ 0.9%）	
全 国（速報）	94.8	（前月比+ 4.5%）	

	業 種	前月比 (%)	前年同 月比(%)	主な品目
上昇 7業種	輸送機械工業	+ 25.4	▲ 10.1	自動車部品
	一般機械工業	+ 20.6	▲ 8.6	一般機械
	電気機械工業	+ 3.5	▲ 9.1	電子部品
低下 8業種	化学・石油石炭製品工業	▲ 18.4	▲ 4.0	化学・石油石炭製品

鉱工業生産指数 (2015年=100.0)



鉱工業生産指数の推移(3か月後方移動平均)

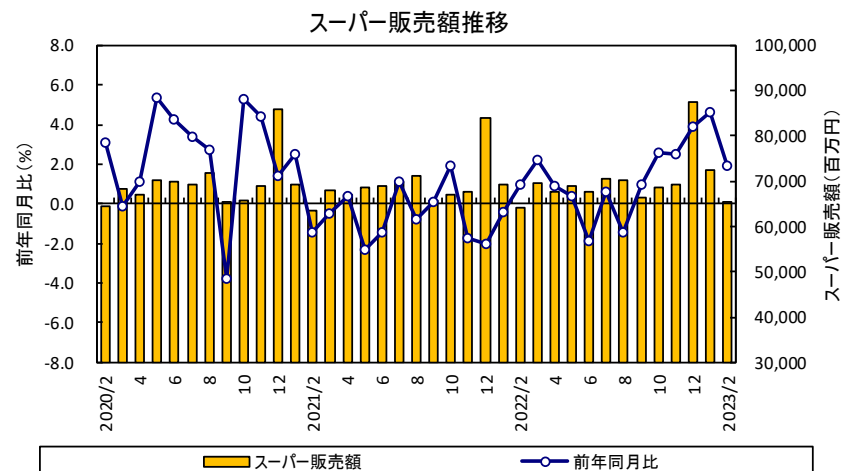
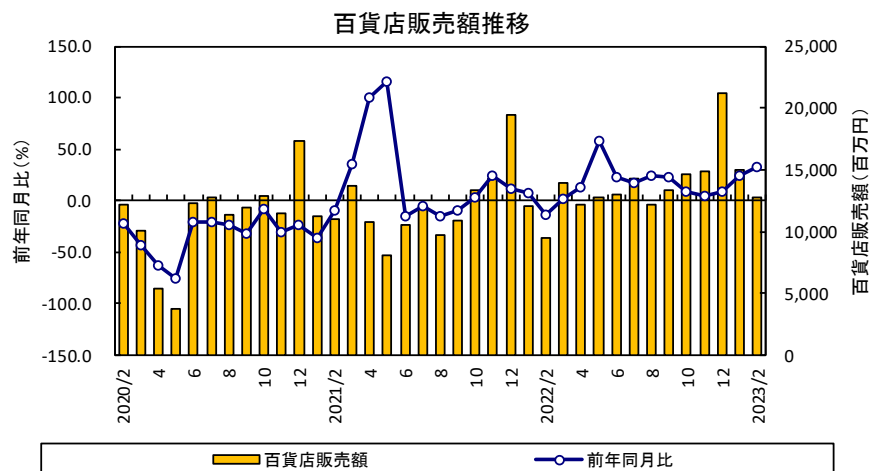


(資料：経済産業省、北海道経済産業局)

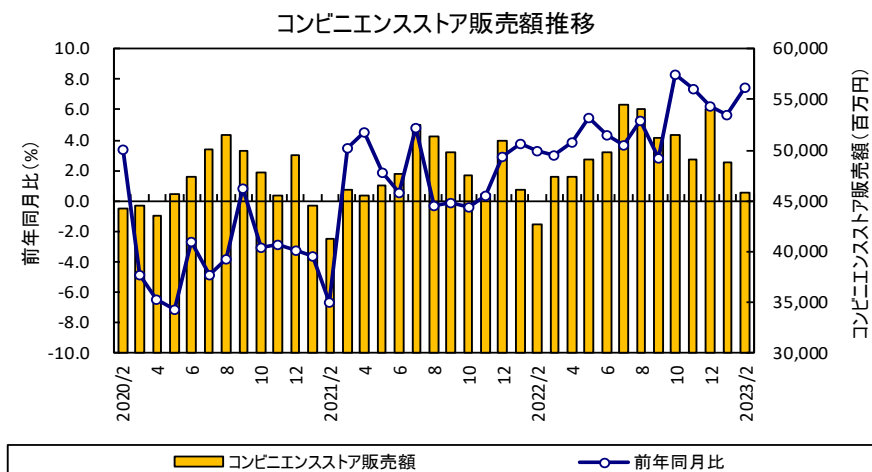
個人消費 ～ 持ち直している ～

2月の個人消費は、全ての業態が前年を上回った。

- ・百貨店は、全体的に売上げが好調で、前年同月比+33.4%と12か月連続で前年を上回った。
- ・スーパーは、衣料品などの売上げが好調なほか、飲食料品は全体的に値上げの影響もあり売上げが増加し、同+1.9%と6か月連続で前年を上回った。
- ・コンビニエンスストアは、同+7.5%と16か月連続で前年を上回った。



※ 2020年3月に対象事業所の見直しを行ったスーパーの2020年2月以前の販売額については、整合性を図るため調整済み。

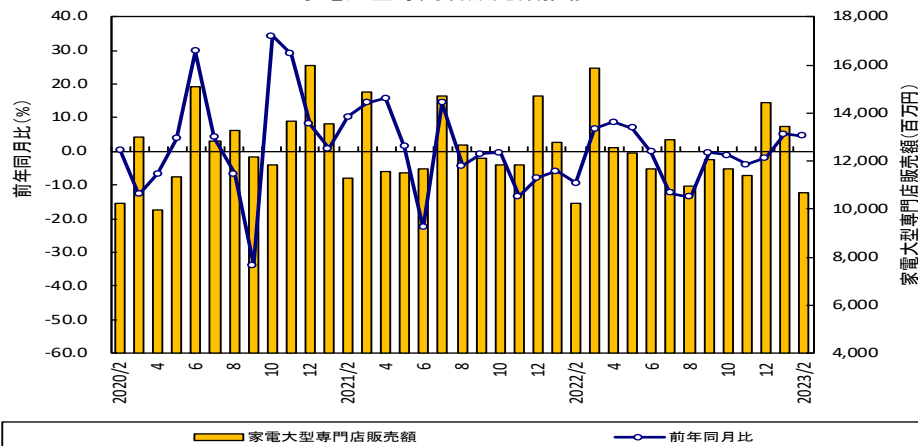


【ヒアリング内容】

- ・昨年は新型コロナウイルスの新規感染者数が高い水準で推移していたほか、2度にわたる大雪の影響で交通機関に支障が生じ、客数と売上げが減少した。今年はその反動でいずれも増加した。3月からマスク着用が個人の判断になるとの発表の影響もあって、外出用の春物衣料は前年比で2倍の売上げとなった。(百貨店)
- ・電気料金が高騰している影響からか、家の中で着る厚手の防寒衣料の売れ行きが好調だった。バレンタインデーのチョコレートや節分の恵方巻きは、全体的に単価が上昇しており、売上げが増加した。(スーパー)
- ・人流が増加し客数が前年を上回った。おにぎり、弁当、飲料、麺類や惣菜の売上げが好調で、買い上げ点数も増加した。3年ぶりにリアル開催となったさっぽろ雪まつりの開催期間中は、周辺店舗の売上げが良かった。(コンビニエンスストア)

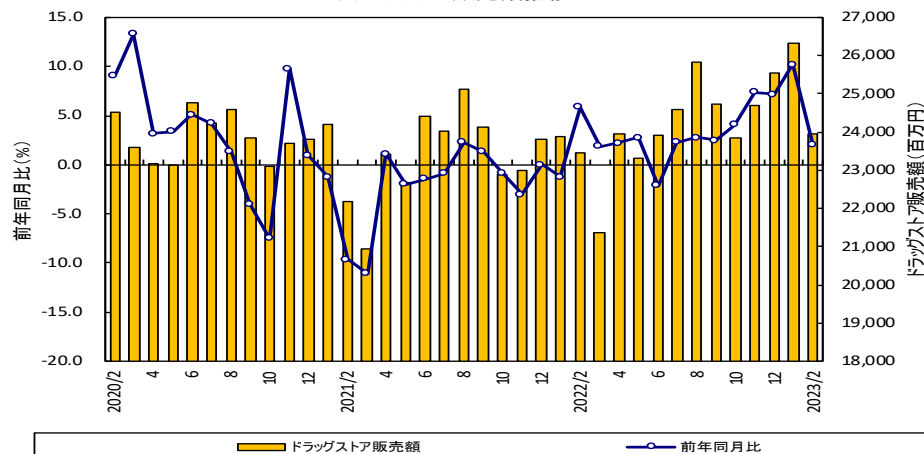
- ・家電大型専門店は、同+4.5%と2か月連続で前年を上回った。ドラッグストアは、同+2.1%と8か月連続で前年を上回った。ホームセンターは、同+0.0%と2か月ぶりに前年を上回った。
- ・新車販売は、同+32.4%と6か月連続で前年を上回った。

家電大型専門店販売額推移



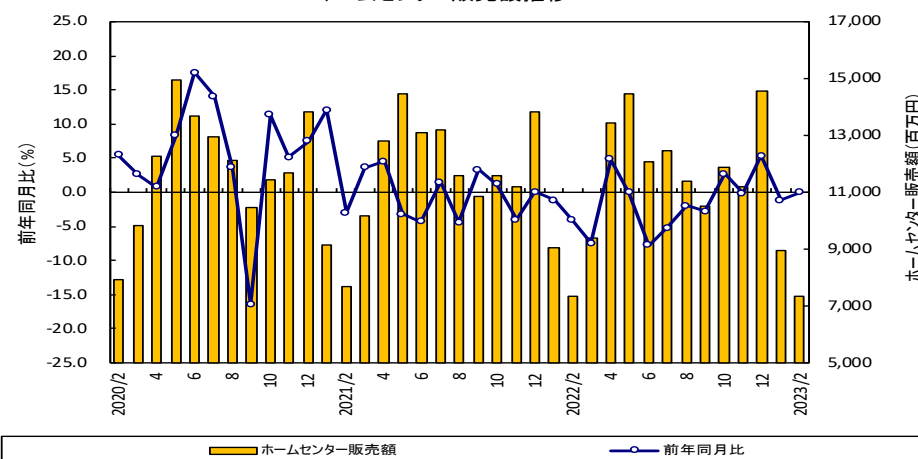
(資料：北海道経済産業局)

ドラッグストア販売額推移



(資料：北海道経済産業局)

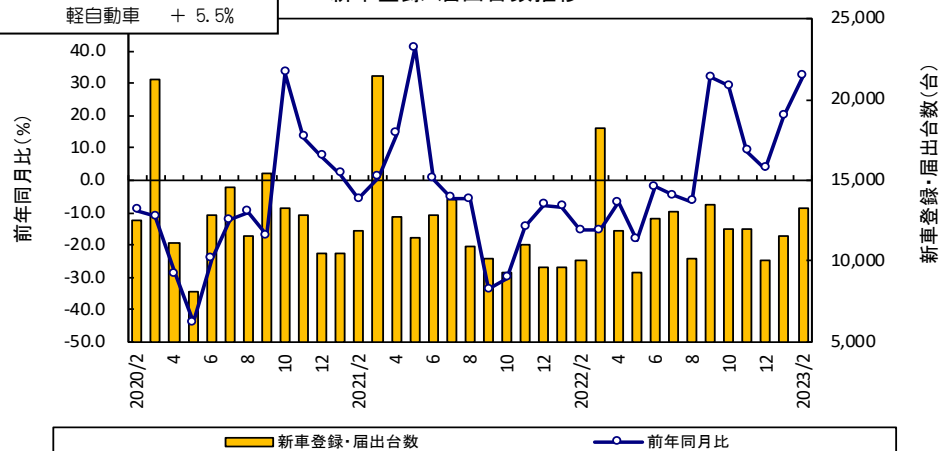
ホームセンター販売額推移



(資料：北海道経済産業局)

< 2月 > 普通乗用車 +79.1%
小型乗用車 +14.2%
軽自動車 +5.5%

新車登録・届出台数推移



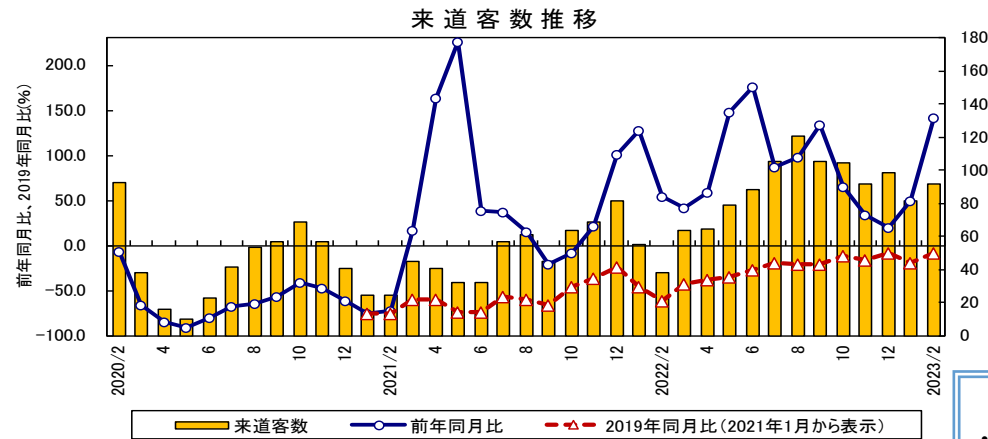
(資料：(一社)日本自動車販売協会連合会、(一社)全国軽自動車協会連合会)

【ヒアリング内容】

- ・電気料金の高騰による節約志向の高まりからか、先月に引き続き小型の石油ファンヒーターの売上げが好調だった。(家電大型専門店)
- ・飲食品は値上がりしていることもあり売上げが前年を上回った。化粧品はマスク着用の緩和の報道があったこともあり、売上げが好調だった。インバウンド販売額も回復傾向が続いている。(ドラッグストア)
- ・除雪用品は、前年大雪の影響でよく売れたことの反動に加え、今シーズンは根雪になる時期が早く、例年よりも早い段階で売れたことから、売上げが減少した。電気料金の高騰による節約志向の高まりからか、例年はシーズン初めによく売れる断熱用品や石油ストーブが、今年は2月の段階でもよく売れた。(ホームセンター)

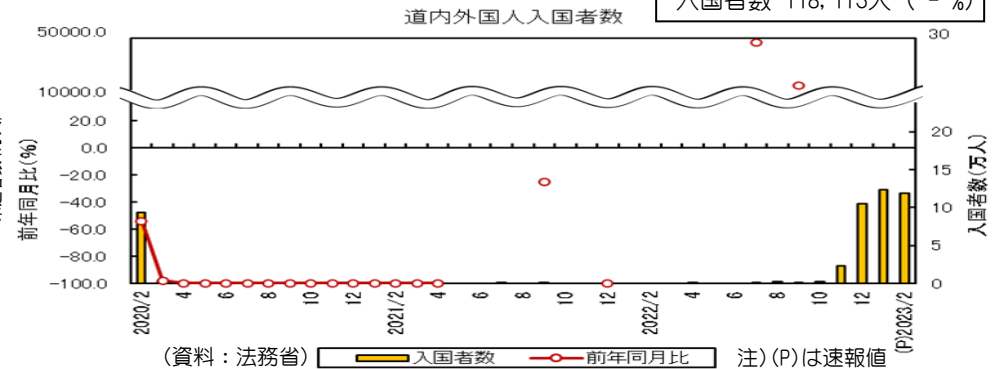
観光 ～ 緩やかに改善している ～

2月の来道客数は、前年同月比+141.9%（2019年同月比▲8.2%）と16か月連続で前年を上回った。また、道内外国人入国者数は、118,173人であった。



< 2月 > 来道客数 914,513人 (+141.9%)
 ※北海道外から航空機（国内線）、JR（北海道新幹線）、フェリーを利用して来道した旅客数。
 ※道内で入国手続きを行った外国人数は含まない。

（資料：（公社）北海道観光振興機構）

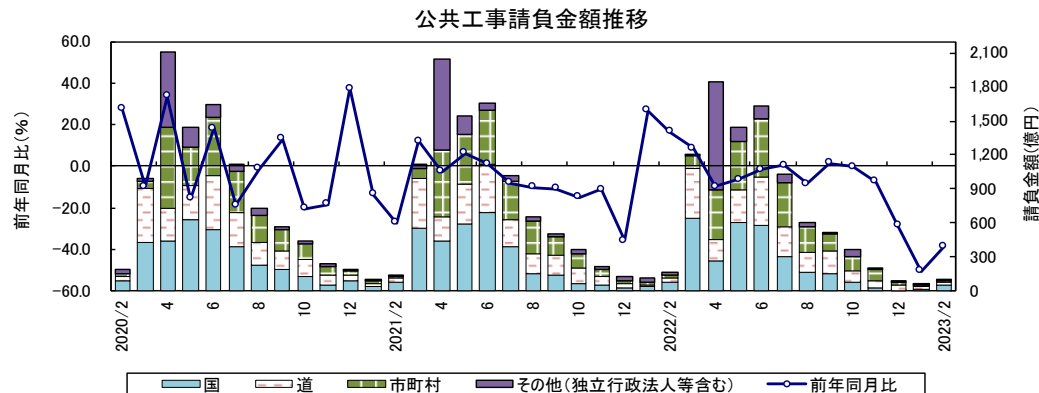


【ヒアリング内容】

- 2月は、3年ぶりに開催された雪まつりなどの冬季イベントの影響もあり、道外観光客やアジア圏を中心とした外国人観光客でにぎわい、宿泊施設の稼働率も好調。また、スキーやスノーボードを目的とした欧米人の姿が地元スキー場でも多くみられた。3月は、外国人観光客の動きは落ち着いてきたものの、卒業旅行を楽しむ少人数グループの若者や春休みの家族旅行者などの道外観光客が多くみられた。（観光協会）

公共工事 ～ 減少した ～

2月の公共工事請負金額は、国、道、市町村の全てで前年を下回り、前年同月比▲38.7%と5か月連続で前年を下回った。



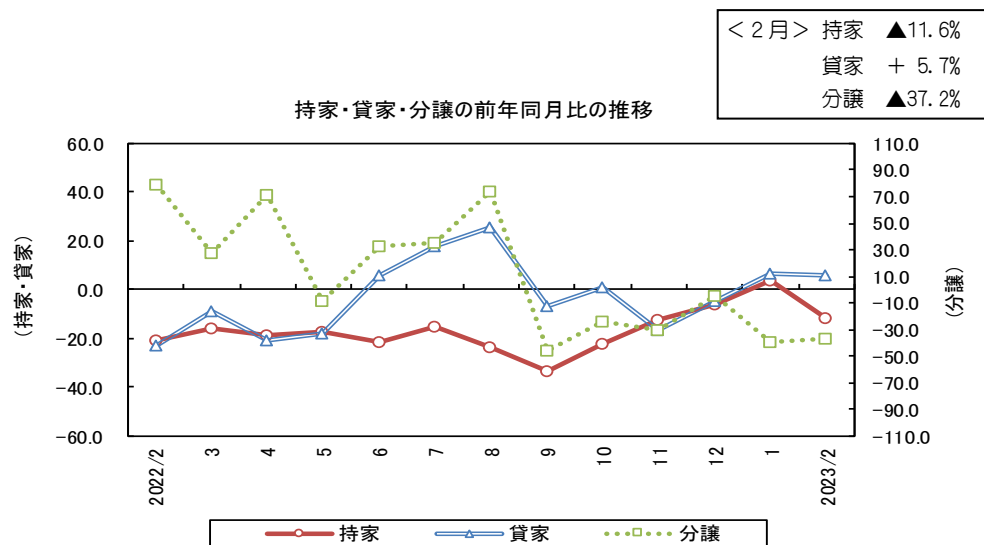
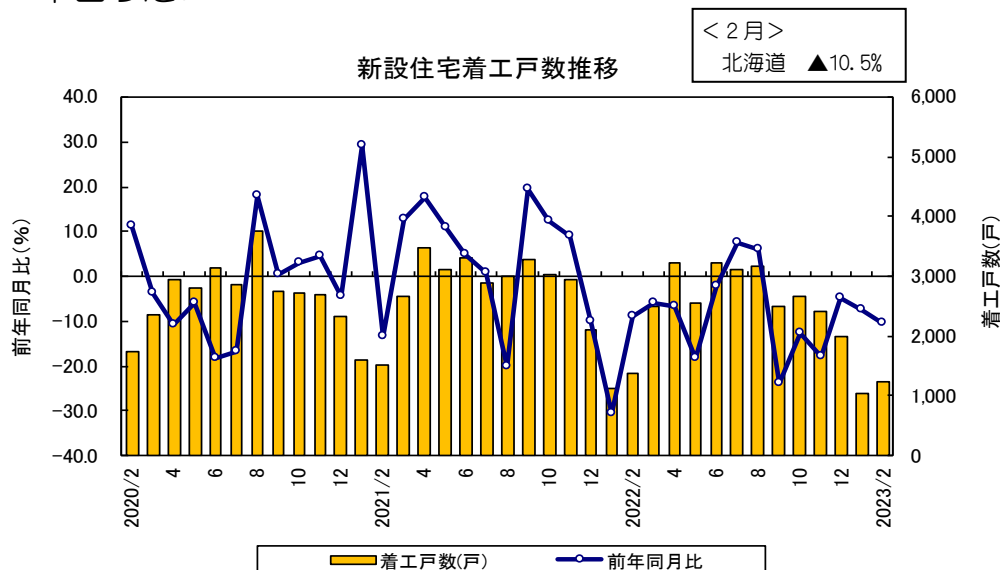
< 2月 >
 北海道 ▲38.7%
 （内 訳）
 国 ▲39.6% 道 ▲21.4% 市町村 ▲33.4% その他 ▲72.3%

（請負金額は国、道、市町村、独立行政法人等の合計額）

（資料：北海道建設業信用保証（株）ほか2社）

住宅建設 ～ 弱まっている ～

2月の新設住宅着工戸数は、貸家は前年を上回ったが、持家、分譲は前年を下回り、前年同月比▲10.5%と6か月連続で前年を下回った。



(資料：国土交通省)

民間設備投資 ～ 増加している ～

2022年度の設備投資計画は、全体で前年度比+12.6%と3年ぶりに前年度を上回った。
なお、2023年度は前年度を下回る計画となっている。

日銀短観の設備投資動向

2023年4月3日発表

	2022年度	2023年度
北海道	+ 12.6%	+ 5.2%
製造業	+ 42.1%	+ 24.1%
非製造業	+ 3.4%	▲ 2.9%
全国	+ 11.4%	+ 3.9%

注) 土地投資額を含み、ソフトウェア投資額、研究開発投資額を除く。

注) 北海道は、電気・ガスを除くベース。

(資料：日本銀行札幌支店)

法人企業景気予測調査(北海道・設備投資)

2023年3月13日発表

	2022年度	2023年度
全産業	+ 26.0%	▲ 5.0%
製造業	+ 34.7%	+ 60.0%
非製造業	+ 24.0%	▲ 22.0%

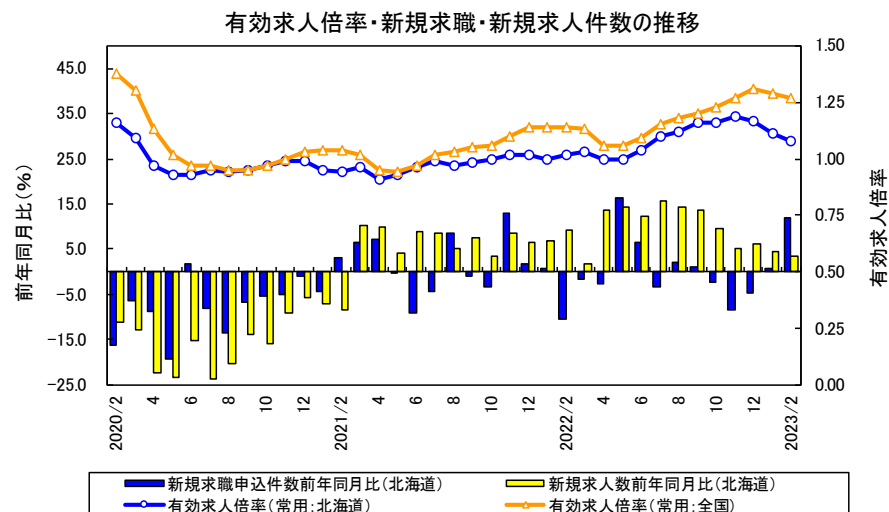
※数値は対前年比増減率。

注) ソフトウェア投資額を含み、土地購入額を除く。

(資料：北海道財務局)

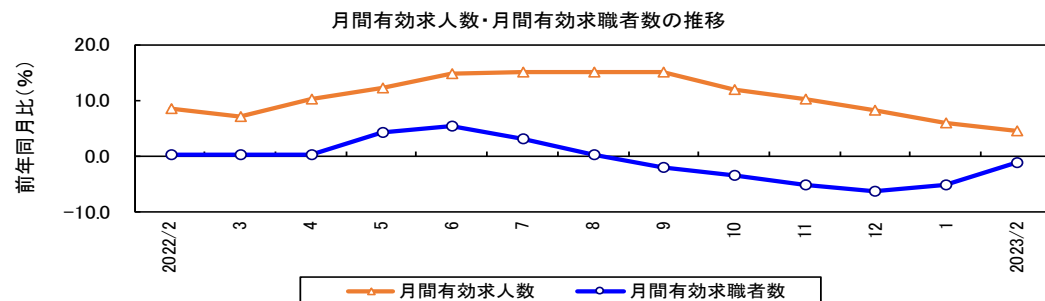
雇用動向 ～ 緩やかに持ち直しの動きがみられる ～

2月の有効求人倍率は、1.08倍と前年同月差0.06ポイント上昇し、21か月連続で前年を上回った。



< 2月 >			
北海道	有効求人倍率(常用)	1.08倍	
	新規求職人数(前年同月比)	+ 3.4%	
	新規求職申込件数(前年同月比)	+12.1%	
	有効求人倍率(常用)	1.27倍	
全国	有効求人倍率(常用)	1.08倍	
	新規求職人数(前年同月比)	+ 3.4%	
	新規求職申込件数(前年同月比)	+12.1%	
	有効求人倍率(常用)	1.27倍	

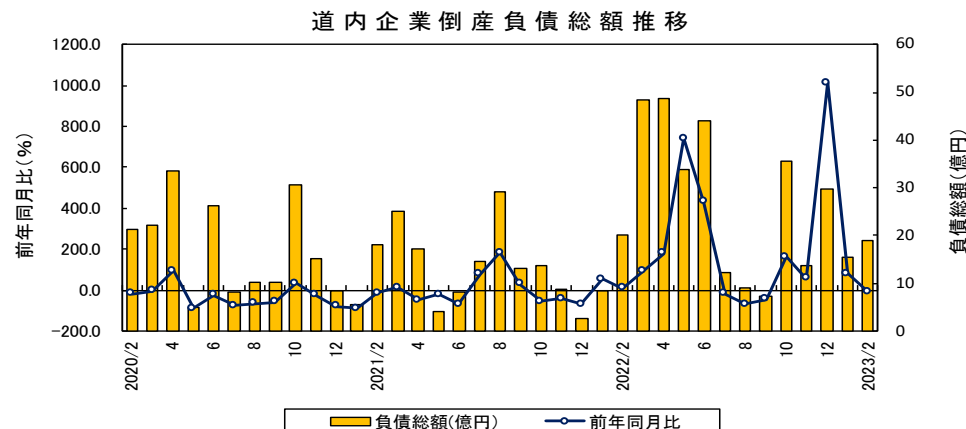
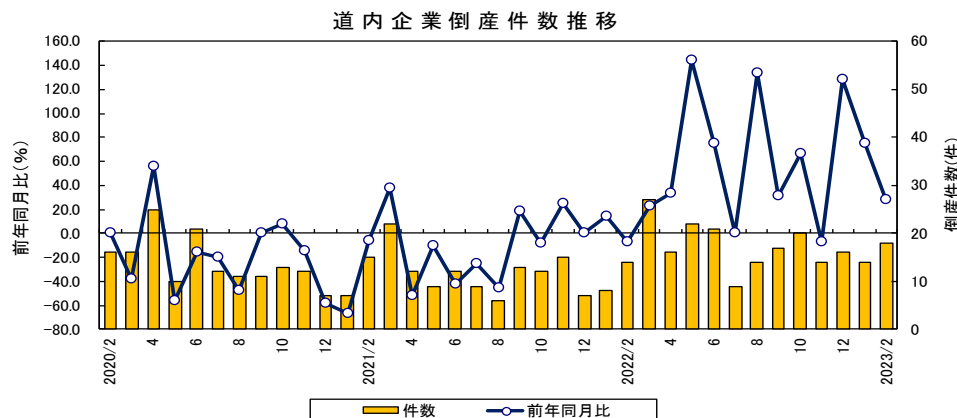
< 2月 >			
月間有効求職人数	(前年同月比)	+ 4.7%	
月間有効求職者数	(前年同月比)	▲ 1.2%	



(資料：厚生労働省、北海道労働局)

企業倒産 ～ 件数は増加、負債総額は減少した ～

2月の倒産件数は18件で、前年同月比+28.6%（4件増）と3か月連続で前年を上回った。また、負債総額は18.8億円で、同▲6.6%と5か月ぶりに前年を下回った。



(資料：(株)東京商工リサーチ)